



平成31年度 町長施政方針 当初予算概要 特集・保存版

奥多摩町役場 〒198-0212 奥多摩町氷川 215-6 ☎0428-83-2111 FAX0428-83-2344 <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>



平成31年第1回定例町議会が3月5日から19日まで15日間の会期で開かれ、初日の6日に河村町長が、平成31年度施政方針を発表しましたので、その概要をお知らせします。（国・都の現況などは省略しています。全文は町ホームページに掲載、または役場企画財政課および古里出張所に置いてありますのでご覧ください。）

第5期奥多摩町長期総合計画の実現にむけて 河村文夫町長 平成31年度施政方針

【町長就任
16年目を迎えて】

平成31年は、町民皆様からの負託を受け、4期目の町政を担うこととなつてから4年が経過する任期の締めくくりの年で、通算では16年目を迎える年となります。町民の皆様、議員の皆様には、これまでのご支援とご協力に対しまして、心から感謝申し上げます。

さて、私はこれまで町長として担ってまいりました16年におよぶ町政において、町民の皆様が行った16年におよぶ町政に政に何を求めているのか、また、どのような考えを

持っているのかを常日頃より意識しながら、町民の皆様が安全で、安心してこの奥多摩町で暮らすことができるよう、スピー

ド感をもってバランスのとれた行財政運営に努め、町の長年の懸案事項でありました町営水道の都営水道一元化が平成22年4月に実現し、それ以降東京水道局においては、ひむら浄水所、小河内浄水所及び大丹波浄水所など取水・導水・浄水施設整備に44億5千万円の投資をいただき、最新の浄水設備を備えた施設となりました。また、老朽化した水道管の更新等については、現在までに、およそ30億円が掛けられ、今後同様に耐震性能を

有した水道管へと生まれ変わり、町の水道については、災害に強い安全で安心な万全の水道供給体制が実現されるものと考